

## 《プロジェクト名 真鴨、雛、食用肉生産販売施設整備》

市町村	舟形町	対象地域	舟形町	分野	畜産
実施主体名	庄司太郎 (山形第一農場)	代表者氏名	同左	住所又は主たる事務所 の所在地・連絡先	舟形町
実施主体構成	1名				

プロジェクト 目標（5年後）	産出額（増加額）	12,500千円（3,500千円の増加）					
	独自の目標項目	有機・無農薬農法による水稻作付けの一助として真鴨の生産数量の拡大を図り、安定的に供給出来る体制を確立し、生産販売高の増加に結びつけたい。合わせて地元農家と飼料用米の契約栽培数量を拡大して農業振興（生産調整）の一役を担いたい。					
各年次目標	現 状	1年目（H22）	2年目（H23）	3年目（H24）	4年目（H25）	最終年（H26）	
	産出額	9,000千円	9,700千円	10,400千円	11,000千円	11,700千円	12,500千円
	独自の 目標項目	親鴨 2,800羽 雛鴨 14,000羽 飼料用米契 約栽培面積258.7a	親鴨 2,800羽 雛鴨 19,000羽 409.6a	親鴨 2,800羽 雛鴨 19,000羽 450.0a	親鴨 3,000羽 雛鴨 19,000羽 450.0a	親鴨 3,000羽 雛鴨 19,000羽 500.0a	親鴨 3,000羽 雛鴨 20,000羽 500.0a
プロジェクト 概要	◎実施方針	有機、無農薬米生産農家への雛鴨の生産販売、地元農家との飼料用米の契約数量の拡大					
	○産出額の増大	3,500千円					
	○雇用の創出	240人/日					
	○創意工夫	平成元年から真鴨の養殖、独自の飼育法で生産販売。器具やハウス等の導入により県内及び県外の有機・無農薬生産農業者へ雛の供給、レストラン等への食用肉の供給体制を構築					
	○実現性	無農薬米生産者への供給を可能とすることにより生産者の意識の高揚と付加価値生産を実現					
	○地域への波及 効果	安全・安心の有機・無農薬米生産者の増加、販売額の増加					
	○その他						

	実施年度（平成22年度）	実施年度（平成 年度）
事業内容	真鴨、雛、食用肉生産販売施設整備	